

平成 20 年 1 月 21 日
健康福祉事業本部
福祉部高齢社会対策課

高齢者保健福祉懇談会における検討課題（テーマ）の整理

1 高齢者の社会参加

《委員意見》

○元気高齢者のキャリア登録制度および活用仕組みの創出

高齢者の知識・経験等を活かす任意登録制度（人材バンク）をつくる。

《第 3 期計画関連事業》

◇（仮称）地域福祉パワーアップカレッジ事業 [P.24]

◇人材情報バンク（「区民発」生涯学習出前講座） [P.25]

◇シルバー人材センターへの支援 [P.26]

◇アクティブシニア支援事業への支援 [P.26]

2 健康の保持増進

《委員意見》

○中高年健康診断の多様化

骨粗しょう症予防事業の充実（拡大）、機能回復のためのリハビリ助成および健康・体力づくり相談案内の周知の工夫を図る。

○高齢者の健康・体力の保持、増進支援

元気高齢者の健康保持・体力増進の支援を図る。

《第 3 期計画関連事業》

◇健康意識の啓発 [P.29]

健康フェスティバル、リーフレット（健康ねりま 21）の作成

◇区民の主体的な健康づくり活動への支援 [P.30]

自主グループ等への活動支援、総合型地域スポーツクラブ（SSC）の育成・整備

◇健康づくりの運動の場と機会の提供 [P.31]

スポーツ教室

◇高齢者健康診査 [P.32]

◇がん健診 [P.33]

◇健康教育・健康相談 [P.33]

3 ひとりぐらし高齢者・高齢者のみの世帯への支援

《委員意見》

○ひとりぐらし高齢者への支援

民生委員等の協力による積極的な訪問相談を行う。

○地域における孤立化の防止

地域包括支援センターに民生委員等により構成される地域見守りチームをつくる。

○高齢者二人暮らしの支援のあり方

ひとりぐらし高齢者だけではなく、高齢者のみの世帯への支援も必要である。

○高齢者のひとり暮らし同士のトラブル・障害者（高齢者）の支援

困難ケースへの対応が難しい。

○ひとりぐらし高齢者への支援

ひとりぐらし高齢者の施設利用の促進および高齢者福祉電話等の周知を図る。

①老々介護の実態調査と問題点の把握および支援

老々介護の実態調査を行い、問題点の把握をし、適切な支援体制を図る。

《第3期計画関連事業》

◇地域支え合いネットワークの構築 [P.66]

◇高齢者福祉電話 [P.67]

◇一声訪問 [P.67]

4 在宅医療・看護・介護の支援

《委員意見》

○継続的効果的リハビリによる自立支援

寝たきり・認知症予防のために地域で自立を支援する体制として、地域包括支援センターに医師等により構成される機動的リハビリ支援チームをつくる。

《第3期計画関連事業》

◇保健・医療・福祉の連携 [P.65]

◇総合相談・地域ケア体制 [P.65]

5 高齢者施設のあり方

《委員意見》

○高齢者施設のあり方

利用者にとって魅力的な施設となるような施設運営の工夫を図る。

《第3期計画関連事業》

◇高齢者センター・敬老館の活用 [P.55]

◇高齢者センターの整備・敬老館の改修 [P.56]

6 高齢者の権利擁護

《第3期計画関連事業》

◇成年後見制度の利用支援 [P.69]

7 その他

《委員意見》

○小中学生と高齢者の交流

小中学校の福祉授業の一環として高齢者とのふれあいの場づくりを行う。